

インシデント・プロセス法の進め方（ファシリテーター用資料）

ステップ	時間	ファシリテーターの原稿
①事例の提示	5分	これから、事例研究会をはじめます。 時間は、「事例の提示 5分」「情報収集 15分」「支援策の提案 15分」「まとめ 10分」の合計45分です。 ルールは、3つです。「①批判・否定をしない」「②発言はコンパクトに」「③積極的に発言する。ただしパスOK」です。 それでは、〇〇先生から事例を提示していただきます。 記録係の△△先生、記録をお願いします。 事例の提示5分 ありがとうございました。 <目標が明確でなかったとき> では、目標を設定したいと思います。 気になる点は多いと思いますが、この時間でみんなで話し合うなら、どんな目標が良いでしょうか？ 事例提供者の〇〇先生、お願いいたします。 事例提供者が目標を設定
②情報収集	15分	次は、情報収集です。 支援策を考えるのに必要な情報を集めましょう。 質問は簡潔に、一問一答形式でお願いします。 事例提供者は事実のみを簡潔に教えてください。 こちらから順番に質問して、何周か回しますので、考える時間が必要なときは「パス」でも結構です。 では、お願いいたします。 情報収集15分 <情報が少ないとき> 〇〇について、聞きたいことはありませんか？

		<必要に応じて> その「どうして?」を探るために、みんなで考えていきましょう。 そのためにほしい情報はありますか?
③支援策の提案	15分	次は、支援策の提案です。 目標に近づくために、「明日からできそうなこと」「試してみたいこと」は何でしょうか? まず2分間、お一人で考えてください。 個人で考える(2分) では、3分間、隣の人とペアで話し合ってください。 ペアで話し合う(3分) それでは全体で共有します。 こちらから順番に、1人1つずつ提案してください。これも何周か回したいと思います。パスも結構です。自由な発想で、質より量を意識して、お願いします。他のアイデアに便乗するのも歓迎です。 それでは、お願いいたします。 支援策の提案(約8分) ありがとうございました。
④まとめ	10分	では、まとめに入ります。 まず事例提供者の〇〇先生から、「やってみたい」と思った支援策や、全体を通して「気づいたこと」を話していただきます。3分ほどでお願いいたします。 事例提供者のまとめ(3分) 続いて、参加者の皆さんから「学んだこと」「気づいたこと」を1人1分ほどでお願いいたします。 参加者各自のまとめ(1人1分) 事例提供してくださった〇〇先生に拍手をお願いします。 これで事例研究会を終わります。 ありがとうございました。

以上です。お疲れさまでした。